

こさかき 地域センターだより

Vol.9

令和4年6月1日 長崎市小榊地域センター発行 小榊地域の人口等（R4年4月末現在） 世帯数 2,698 世帯 人口 6,832人（男3,304 女3,528）

よろしくお願いします。 小榊地域センター新所長 朝長です！



4月に就任しました朝長聖治と申します。初めての出先勤務となりましたが、ここは、交通アクセスもよくJRとバスで快適に通勤しております。2か月がたちましたが、この間、自治会役員、民生委員・児童委員、学校関係者等の方々とお会いし、一生懸命に活動されておられることに敬意を表します。

ウイズコロナと言われ久しいですが、地域の課題に対し、皆様との「つながり」を大切に、一緒に悩み、考えていきたいと思えます。地域の住民に親しまれるセンターを目指して7人の職員でがんばります。皆様のお越しをお待ちしております。

令和4年4月1日付人事異動がありました。

3月31日付で1名退職し、4月1日付の人事異動で小榊地域センターから2名の職員が異動し3名の職員が新しく加わりました。

今後とも皆様に親しんでいただける窓口を目指してまいりますのでよろしくお願いいたします。

退職職員

係長 森 英二

転出職員

所長 徳永 千洋

再任用職員 梅下 譲治

転入職員

所長 朝長 聖治

係長 中山 義彦

主任 宮副 淳子

拠点避難所としてシャワー室が設置されました

拠点避難所として長崎市内で42施設が指定され、小榊会館（小榊地域センター）も指定されております。それに伴い、長期にわたる避難所生活での避難者の健康・衛生面を維持するため1階にシャワー室が整備されました。

工事期間中は騒音等で近隣住民の皆様にはご迷惑をおかけしました。ご協力ありがとうございました。

※拠点避難所は、通常の避難所の役割に加え、自宅が被災するなど、行き先がない避難者が仮設住宅等に入居するまでの間の避難所生活に対応するために整備された避難所です。



消防団募集のお知らせ

消防団は本業を持ちながら「自分たちのまちは自分たちで守る」という共助の精神に基づき、地域の安心と安全を守るために活躍しています。

災害が発生した時に頼りになるのは地元の消防団です。消防団活動を通して世代を超えた人たちとの繋がりや信頼できる仲間を作りませんか？

本来であれば関わるはずのなかった人たちと知り合うことができ、繋がりが増えるのは消防団員の魅力です。近年は消防団員数も減少傾向にあるため、一人でも多くの入団をお待ちしております。

担当 長崎市消防局予防課 市民消防係 Tel:822-0425

小榊地区には、第23分団本部・1部・2部・3部があり、現在39人（令和4年4月現在）の団員がおり、地域の防火防災のため活動していただいています。感謝申し上げます。

裏面へ続く

神ノ島七夕まつりが開催されます（8/5～8/14）

令和4年8月5日（金）から8月14日（日）まで神ノ島1丁目第1自治会公民館で第4回目の神ノ島七夕まつりが開催されます。今回は平和・希望・復興をテーマとして、ウクライナ国旗の色をモチーフにした飾りやペットボトルを再利用した飾りなどがあるそうです。最近ではメディアに取り上げてもらったおかげで地元以外の方の見物客も増えているそうです。是非今回もお立ち寄りください。

なお、雨天の場合は七夕飾りの保護のため設置しないとのことです。

また、自治会のご厚意によりPRも兼ねて小榊地域センター内にも小さい飾りを設置することになりました。楽しみにしています。

製作現場取材に訪れた日は、婦人部のみなさんが七夕飾りに付けるリボンを製作されていました。リボンだけで2,400個作るということで、1月末から週2回程度行っているそうです。

開催のきっかけは、東北出身の方が仙台七夕の飾りつけを作って婦人部のみなさんに見せたところ長崎では見ない飾りであったため、みなさんが興味を持ち飾りつけの作り方を教えてもらい飾り始めたそうです。初めの頃は7月の開催でしたが、梅雨で外に飾れる日数が少ないことやお盆で帰省した方に見せたいとの思いから8月開催になったとのことです。大きな飾りの設置には役員さんの手伝いだけでなく自治会内にある事業所の九電工さんに車両を出していただいているので助かるとのことでした。

婦人部の方が神ノ島プールのお風呂でほかの地区の知らない人から「神ノ島の七夕はすごいから一度行ったほうがいいよ」と言われて、「私たちが作っています」と返答するなど、自分たちの飾りが褒められてうれしかったそうです。

今婦人部では後継者不足に悩んでおり、他の地区からでも製作を手伝ってくれる仲間が欲しいそうです。興味のある方は神ノ島1丁目第1自治会公民館を訪ねてくださいとのことです。



昨年の七夕まつりの風景



婦人部のみなさんの製作風景



ウクライナ国旗の色を使った七夕飾り

「読んだばい！」を励みに

小瀬戸町西二区自治会が毎月1回発行している広報誌「小瀬戸町西二区自治会だより」が7月号で発行100回目になることから小瀬戸町西二区の宮崎初己会長にお話を伺いました。

自治会だよりは平成26年4月号からスタートし、「情報開示」「タイムリーな情報伝達」「地域に特化した記事」「行政（長崎市・長崎県）と住民の方を結ぶツール」「住民から反響（見たばい!）」をモットーにされていて、例えば「広報ながさき」で会員の生活に関連する記事を抜粋して載せたり、令和4年4月1日から長崎自動車株式会社と長崎県交通局との共同経営の内容やバスの減便について取材に行くなど、住民のみなさんに寄り添った、タイムリーな記事がたくさんありました。

会長は2年目に発行をやめようかどうか悩んでいたそうですが、住民の方に「自治会だより読んだばい」、「夫も毎月読むのを楽しみにしている」と言われたのがうれしくてそれが励みになり続けて行こうと決心されたそうです。毎月の取材、作成はすごくたいへんだと思いますが、今後とも行政と住民の架け橋になる「だより」を作成してください。会長の熱い思いに感動しました。

自治会だより100号到達



小瀬戸町西二区自治会だより

小榊地域センター

郵便番号：〒850-0077

住所：長崎市小瀬戸町1015番地7

電話：095-865-0740 FAX：095-834-4002

窓口時間：月曜～金曜（8：45～17：30）※祝日及び12月29日～1月3日を除く

